

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月23日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス にじいるPROGRESS

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		机を移動させたり、支援場所を分散させて対応をしています。
	2	職員の配置数は適切である	7	1		配置基準以上の職員配置を行い、各テーブルに職員が1名配置できる体制を整えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7		事業所位置が賃貸ビルの2階にあり、エレベーターなどの設備がありません。入り口やトイレに段差があります。安全管理には特設の配慮を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	ミーティングで話し合いをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	アンケートを実施しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページにて適切に公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	定期的に研修を実施して職員の力量向上を図っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	年度に2回面談以外にも、HUGのメッセージ機能を利用し、情報の共有を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	通常のアセスメント以外に、「SM社会生活能力チェック表」や「ISSP」を活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	社内ミーティングで適宜、話し合いを行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	事例として、イベントも様々な内容を取り入れるなど、工夫をして実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	学校休業日には、平日では出来ない活動も取り入れるなど、工夫をしています。	

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	日々の活動の様子やモニタリングを通して、個人の課題に合わせた計画に変更をするなど、不断の見直しに配慮しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		午前中に常勤職員で朝礼を実施し、加えて午後から出勤する非常勤職員を含めて昼礼も実施し、密度の濃い支援となるように心がけています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	送迎の関係で、支援終了後は出来ないことがあるが、当日に連絡ツールで当該日の情報を共有、又は、翌日の昼礼にて情報共有をしています。	「ミーティングノート」を作成し、所定休日等でミーティングに参加できなかった職員も所内での活動を確認ができるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		HUGにおけるサービス提供記録を活用し、記録を残しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	日々の様子だけではなく、以前と比べてどうだったかという視点でモニタリングを記入しています。(定点観測を実施しています。)	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0	自由遊びの中でも、その場で、“SST”を即時行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	原則、児童発達支援管理責任者が出席しています。状況によっては、他の職員も同席します。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2	利用者の服薬情報や検査結果などは、保護者からアセスメント時又は変更時に情報提供を受けております。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	弊社が運営する児童発達支援サービスの事業所の職員と情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2		外部講師等を招へいして研修を実施しています。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3		今後、イベント活動等に内包して、機会を作る計画をしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	春日井市主催の事業所交流会などに参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0	保護者面談時に助言等により、ペアレントトレーニングをしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	年度1回懇親会を開催して情報支援をしています。	
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	送迎時に情報共有に努めています。	社内でクレームに関する研修を実施し、職員の対応力を高めることに努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		
	35	個人情報に十分注意している	8	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	HUGのメッセージ機能や電話での連絡をきめ細かく実施しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年度に2回の消防訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	外部と法人内双方研修を受講しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	職員朝礼、又は昼礼において、係情報を共有しています。	